



## 習志野市大久保地区公共施設再生事業に対する融資取組みについて

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、この度、習志野市で初のPFIとなる「大久保地区公共施設再生事業」に対し、総額13億円の融資を取り組みますので、お知らせします。

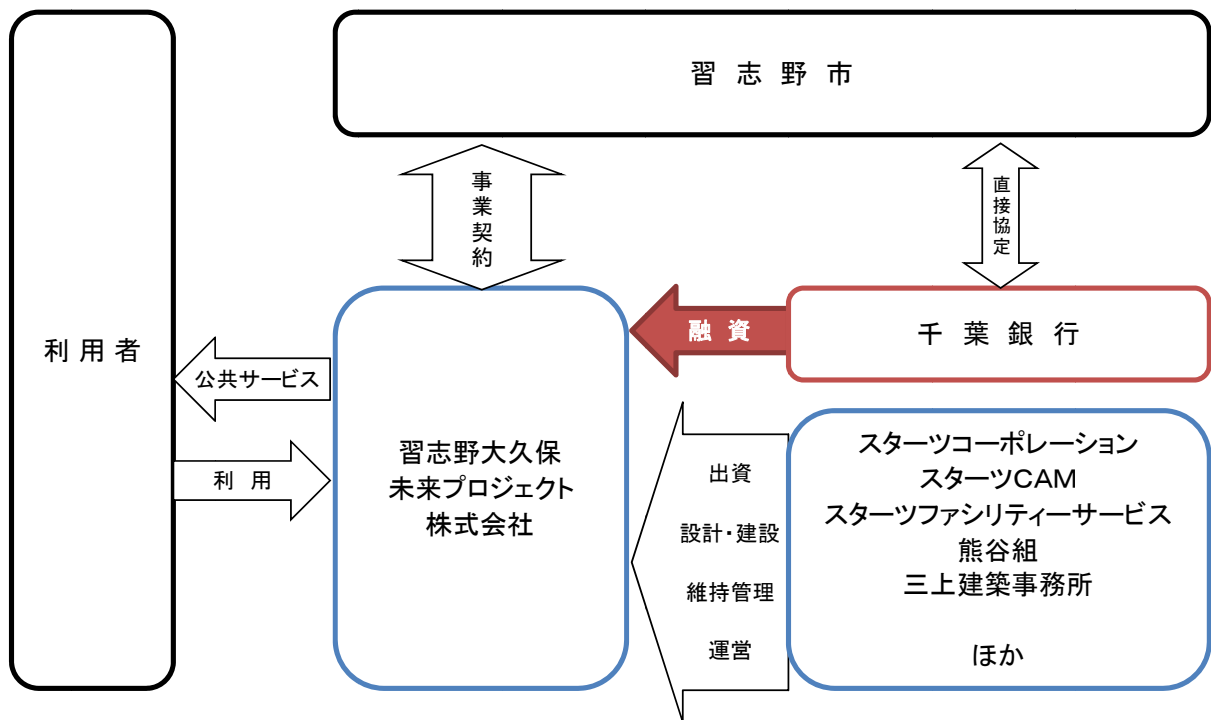
本事業は、京成大久保駅周辺地区におけるまちづくりを目的として、駅南側に立地する既存の公共施設（大久保公民館・市民会館、大久保図書館、勤労会館）と中央公園を一体的に再生する計画となっており、「習志野市公共施設再生計画」のモデル事業として始動いたしました。

当行は、習志野市が2015年度に設置した「公共施設再生プラットフォーム」に参画し、官民連携のネットワーク形成やプロジェクトファイナンスに関するノウハウの提供など、本事業の実現に向けた側面支援を継続して行ってまいりました。

かかるなか、複数施設を一体的に整備して地域再生を図るといふ、先進的で注目度の高い本事業を取り組むにあたり、習志野市が選定したスターツグループは、プロジェクトファイナンスの分野で実績豊富な当行を金融面のパートナーとして、同市初のPFI事業をスタートさせました。

当行は、事業主体となる習志野大久保未来プロジェクト株式会社に対し、総額13億円の融資契約を締結し、2017年11月20日（月）、初回融資金1億円を実行しています。今後も事業の進捗に応じて段階的に資金対応してまいります。

【スキーム図】



### <習志野市公共施設再生計画について>

習志野市は、公共施設の老朽化対策として、市内全ての公共施設の状態を把握し、包括的に再生や集約を図ることを目的として、「習志野市公共施設再生計画」を策定し、全国に先駆けて推進しています。

### <大久保地区公共施設再生事業（本事業）について>

「習志野市公共施設再生計画」のモデル事業として、京成大久保駅南側の中央公園周辺に立地する既存公共施設を一体的に再生する事業です。既存の大久保公民館・市民会館及び大久保図書館は、一部を取り壊して新築し、一部は既存建物をリノベーションし、同様の機能を有する「北館」として再生します。また、既存の勤労会館をリノベーションして「南館」として再生し、アリーナや子どもスペースなどを設置します。その他、中央公園エリアを全体的に再生し、機能拡充を図ります。

習志野市が選定したスターツグループが特別目的会社を設立して、一体整備とその後 20 年に亘る維持管理・運営を担います。

### <本事業の対象施設のイメージ>

全 体

